店主のひとりごと

たけしげみゆき

小さい頃から年末年始のテレビがあまり好きではなかった。いつも楽しみにしている番組は特番で潰れるし、その特番はたいていどこか茶番めいた雰囲気のものばかりで、CMもやたらと多い。とはいえ帰省先の（親戚のいる）徳島では初詣に行くような神社もなく、結局テレビを見るくらいしかすることがないので、ぼんやりと不満を抱えながら年末にみんなで作った餅とテレビを眺めて過ごしていた。

だが先日の年末、その感覚に変化が現れた。年末休み中はDIYの改装作業をみちみちに入れてしまったため、大晦日の夕方までずっと仕事をしていた。連日疲れ果てて帰りテレビをつけると、年末らしい華やかなスタジオでゲストが談笑し、間には今年を振り返るCMなどが流れている。その「強制的年末感」が疲れた心に急に染み、かつて親戚たちが年末年始にずっとテレビを見ていた理由がわかった気がした。

そうして遅ればせながら世間の心情に近づけたのだが、年始は悲しいニュースが立て続き、テレビの強制的年始感を感じることはできなかった。被害や影響を受けたを思うと心が痛むが、自分は自分の生活を頑張り、来年は災害や事故のない明るい年末年始になることを今から切に願っている。

★シカク月報の配布協力募集！

シカク月報を配ってくれるお店やスペースを募集しています。お礼にチラシやショップカードを送っていただければ、シカクの店頭や通販で配布いたします。

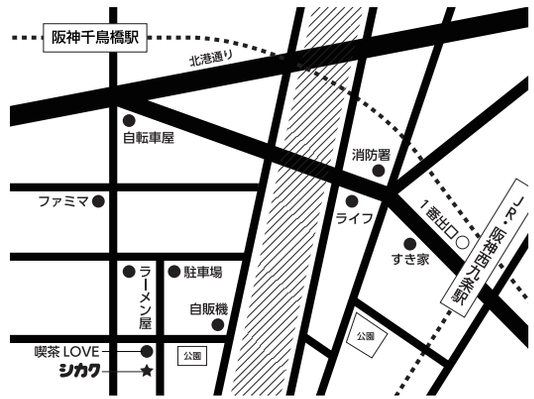
現在の協力店舗さま　模索舎（東京）／BiblioMania（名古屋）／本屋B＆B（東京）／ブックギャラリーポポタム（東京）／FOLK old bookstore（大阪）／古本屋弐拾dB（広島）／花森書林（神戸）／タコシェ（東京）／なんば紅鶴（大阪）／シネ・ヌーヴォ（大阪）／雑貨屋ミケちゃん（大阪）／ホホホ座（京都）／ロフトプラスワンウェスト（大阪）／オソブランコ（大阪）／solaris（大阪）／誠光社（京都）／恵文社（京都）／（本）ぼんぼんぼん（大阪）／トランスポップギャラリー（京都）／マヤルカ古書店（京都）／OF（岡山）／ON READING（名古屋）／古本屋YOMS（香川）／古本ながいひる（岡山）／エフロノット（大阪）／opal times（大阪）／ンケリコ（大阪）／SOMA（大阪）／SPBS本店（東京）／1003（神戸）／TOKYO PiXEL（東京）／FAITH（東京）／画廊モモモグラ（大阪）／喫茶ペーパームーン（静岡）／旧グッゲンハイム邸（神戸）／フレイムハウス（大阪）／ブックバーひつじが（福岡）

★ZINE・同人誌の委託 募集！

シカクではZINE・同人誌のお取り扱いをいつでも募集しています。詳しくはホームページをご覧ください。

★広告募集！

シカク月報に載せる広告を募集しています。一口千円で、個人でも企業でもOKです。詳しくはこの紙の裏面で。



シカク

大阪市此花区梅香1-6-13

平日　14:00〜20:00／土日祝　13:00〜19:00

【Twitter(X)】@n_SHIKAKU

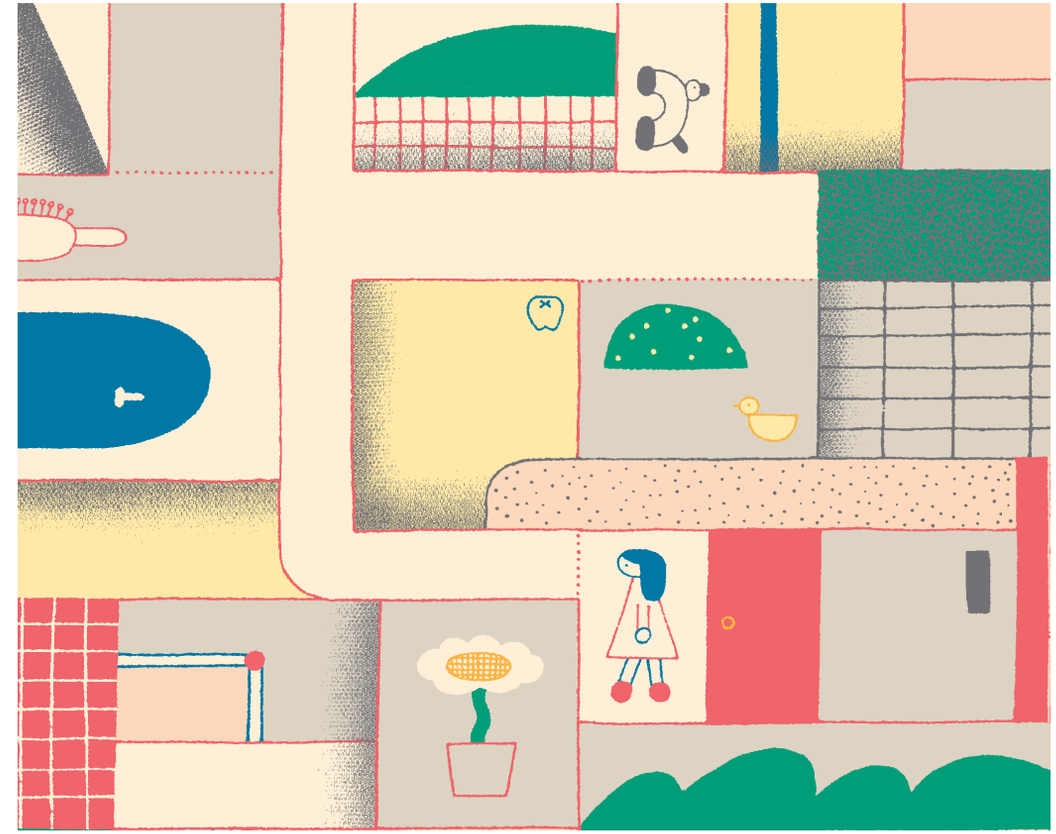
【Instagram】@konohanashikaku

【Website】　http://uguilab.com/shikaku/

リトルプレスと雑貨とギャラリーのお店・シカクが贈る
ニュースとコラムのゆかいなペーパー

シカク月報 2024/01

あんしんの低価格 ¥00



2/5 mon　シカク出版新刊 古賀及子エッセイ集『気づいたこと、気づかないままのこと』発売！

Web日記を書籍化した本が2023年上半期の本の雑誌ベスト第2位に選ばれ、各界から注目を集める古賀及子さん初の本格エッセイ集！　さらに日記本第２弾『おくれ毛で風を切れ』も素粒社より同時期発売。シカクで選書フェアも開催します！！

184ページ／四六判／1600円＋税　★サイン・特典つき予約受付中！

Event News

2月上旬まで

長嶋有 漫画化アンソロジー『いろんな私が本当の私』フェア

芥川・大江賞作家、長嶋有の小説を６人の作家が漫画化したアンソロジーのフェア。サイン本や色紙プレゼント企画もあり！

丁柏晏 画集『沿路的夢話』発売記念展

初の商業コミックが2023年金漫賞を受賞するなど、
台湾で注目のアーティスト・丁柏晏の画集発売記念展。

1/27 sat
10時〜15時ごろ
投げ銭制

新春　石すもう大会

石好きたちが自慢の石を出し合い、良さを競う競技「石すもう」がシカクに上陸！！　老若男女が楽しめる新時代のエンターテイメントをご覧ください。

1/27 sat
18時スタート
税込2200円
予約優先制

都築響一　ひみつの❤トークショー

珍スポットの大家・都築響一氏がシカクに久々にやってくる！！　ラブホテル＆秘宝館のBOX写真集出版、文庫レーベル「POCKET ROADSIDERS」の刊行など、最近のニュースと関係あったりなかったりするここだけ話をじっくり聴けちゃいます！

2/2 fri
▼
2/25 sun

BRIDGE SHIP HOUSE 個展

4つ目のウサギ"Matthew"などのキャラクターを生み出し、オルタナティブコミックやアートトイに影響を受けた作風が国内外で人気のアーティスト、BRIDGE SHIP HOUSEの個展。

2/5 mon
▼
3月上旬ごろ

古賀及子おすすめエッセイ・日記本選書フェア

シカク出版と素粒社より同時期の新刊刊行を記念して、古賀及子さんの選書フェアを開催！　またシカク出版新刊『気づいたこと、気づかないままのこと』装画を手がけた、しまむらひかりさんの作品も展示予定です。

各詳細はシカクのホームページで！→
http://uguilab.com/shikaku/

死ぬときに棺桶に入れてほしい本

【書いた人】UC
団地の給水塔を鑑賞する団体「日本給水党」の党首。去年は2回も風邪をひいたし給水塔もあまり見に行けなかったけど、阪神の優勝・日本一だけで最高の一年になりました。

単に好きな本ということだと高見順の小説『いやな感じ』だけど、出てくるのはアナキストに私娼窟に戦争に殺人と、最高の作品だけど棺桶に入れるとなるととても成仏できそうにない。そう考えて思いついたのが、鴨長明の仏教説話集『発心集』。
「ゆく河の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず」でおなじみの『方丈記』に比べると、同じ鴨長明の作品でもやや影が薄いけど、高校生の頃初めて読んで以来ずっと好きな作品。中でも一番気に入っているのは六巻第七話「永秀法師、数寄の事」だ。
笛ばかり吹いていた永秀法師に「望みがあれば遠慮なく」と声をかける遠縁の金持ち。これに対し金や領地ではなく「あなたの領地の竹は上質なのでそれで作った笛が一本欲しいが、なかなか言い出せずにいた」と答える永秀法師。欲のなさに感動した遠縁の金持ちはすぐに笛を届け、後には比類なき笛の名手になった、という話。たわいもない話だけど、こういう生き方をしたいという気持ちは高校時代から今も変わらない。
棺桶に入る前に、自分にも笛（笛はいらないので高額のカメラとか？）を与えてくれる遠縁の金持ちが現れてほしいところだけど、そういう考えがあるうちはダメかもしれない。

読者投稿コーナー

チャレンジ！自由律俳句

自由律俳句とは、季語や文字数に関係なく自由に綴った俳句のこと。難しそうだけどなんだか楽しそうでもある自由律俳句をみんなでやってみようというコーナーです。

例句

手伝わなくていいと言われる
卒業式の２日後にまた会った
美容院でしか読まない雑誌
電話以外の手段を探す

（パスカ自由律俳句集『麦わら帽子が似合わない』より抜粋）

次回のテーマは…　読書

ご応募はシカクのSNSへDM、
またはメールで shikaku@uguilab.com まで！

★広告募集★

シカク月報の読者にあなたの何かしらをアピールしませんか？
思いがけない未来が待っているかもしれません。

【発行部数】400 部〜500 部
【配布先】シカクの店舗・通販のお客さん、全国の配布協力店

●一口 1000 円
●W50mm×H95mm（このサイズ）
●個人でも企業でも OK
●時期が前後しても大丈夫な内容だと助かります

お申し込みはコチラ→

https://forms.gle/HSMYMSk3XBV1rKL37